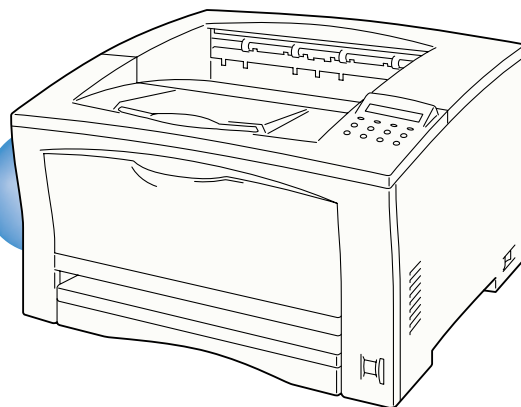
SPEEDIA

CP-E8500 Series
クイックガイド

消耗品の交換、用紙の補給、紙詰まりの処置方法などが記載されています。

※ 本書に記載されていない困ったときの処置方法や用紙についてなどの詳しい説明が、CD-ROM内の「ハードウェアマニュアル」に記載されていますので、併せてご覧ください。

1　表示パネルのメッセージと処置方法

主な表示パネルのメッセージとそのときのプリンタの状態及び処置方法は以下の通りです。詳しい処置方法は参照ページをご覧ください。
本書に記載されていないメッセージが表示されたときは、CD-ROMに収録の「ハードウェアマニュアル」に記載の「メッセージが表示されたとき」をご覧ください。

オペレータコール

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ｶｾｯﾄｻｲｽﾞ　ｶｸﾆﾝ ＣＰＦ１　２　３	下段に表示されているペーパカセットに使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパカセットの用紙サイズダイヤルが正しい位置にありません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	正しく用紙をセットして、用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズの位置にあわせてください。	26
ｲﾝｻﾂﾖｳｼ　ﾌﾃｷｺﾞｳ	印刷した用紙サイズが指定した用紙サイズと違っています。	正しい用紙をセットしてください。	26
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ■■■■■■■■■	カバーが開いています。 ■■■■：カバーの種類を表します。 トップカバー、 リョウメンカバー	表示されているカバーをきちんと閉めてから印刷を開始してください。 リョウメンカバー： オプションの両面印刷ユニットのカバー 注）カバーオープン時にブザーは鳴りません！	ハードウェアマニュアル 17
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ■■■■■■■■■	紙詰まりが起こりました。 ■■■■：紙詰まりが起きた場所を表します。 キュウシ、タイキ、ハンソウ、ハイシ、リョウメンウエ、リョウメンシタ、リョウメン　ホンタイ：	詰まった用紙を取り除いてください。 注）紙詰まりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙が詰まっている可能性もあります。	15

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ドﾞ ラムトナー　コウカン	ドラムトナーセットが寿命になりました。	ドラムトナーセットを新しいものと交換してください。	35
ドﾞ ラムトナー　コウカンジキ	ドラムトナーセットの寿命が残り700ページ以内で印刷を再開している状態です。	新しいドラムトナーセットをご準備ください。	35
ドﾞ ラムトナー　コウカンヨコク	ドラムトナーセットの寿命が近くなりました。	新しいドラムトナーセットをご準備ください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	35
ドﾞ ラムトナー　ミソウチャク	ドラムトナーが取り付けられていません。または、正しく取り付けられていません。	ドラムトナーセットを正しく取り付けてください。	35
ドﾞ ラムトナー　イジョウ	ドラムトナーに正常な物が取り付けられていません。	ドラムトナーに正常な物を取り付けてください。	−
ヨウシカセット　ナシ ＣＰＦ１　２　３	下段に表示されているペーパカセットがプリンタに取り付けられていません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	ペーパカセットを、プリンタの奥まで確実に取り付けてください。 用紙サイズダイヤルのサイズ表示が、表示窓の中央にくるように合わせてください。	26 29
ヨウシ　ホキュウ　※※※※ ★★★★★	用紙がなくなりました。 ★★：　給紙口を表わします。 CPF1、CPF2、CPF3、MPF ※※：　用紙サイズを表わします。	各給紙部に用紙を補給してください。	26 31
リョウメンユニット　ミソウチャク	両面印刷装置が装着されていません。	両面印刷装置を取り付け直してください。	ハードウェアマニュアル 26

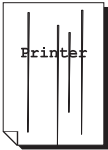
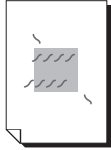
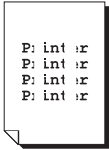
警告エラー

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ＬＡＮ　ﾎﾞｰﾄﾞ　ｲｼﾞｮｳ ﾎﾞｰﾄﾞ　ｶｸﾆﾝ	LANボードが正しく装着できていない、あるいは、LANボードに異常が発生しました。	電源切断した後、ボードが奥まで正しく差し込まれているか確認してください。ボードを正しく装着して、もう一度電源を入れ直してください。それでも左記メッセージを表示している場合は、LANボードを交換してください。	ハードウェアマニュアル33
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐｴﾗｰ	ハードディスクにデータを書き込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。もう一度データを送り直してください。	－
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾃﾞｰﾀｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。異常箇所を削除します。	－
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾌｫｰﾏｯﾄｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。ハードディスクのフォーマットを実行してください。	リファレンスマニュアル15
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾐｿｳﾁｬｸ	ハードディスクが装着されていません。	取消ボタンを押して､エラーを解除してください｡ハードディスクを取り付けてください。	ハードウェアマニュアル30
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ｱｷﾖｳﾘｮｳ　ﾌｿｸ	ハードディスクに空き容量がありません。	取消ボタンを押して､エラーをスキップしてください｡不要なデータを削除してください。	－
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾖﾐﾀﾞｼｴﾗｰ	ハードディスクからデータを読み込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。	－
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰ ﾒﾓﾘｶﾞﾀﾘﾏｾﾝ	メモリ容量不足で印刷ができません。	取消ボタンを押して、エラーを解除してください。別売の増設メモリモジュールを取り付けて、全体のメモリ容量を増やしてください。または解像度を下げて印刷してください。	ハードウェアマニュアル28
ﾖｳｼ　ｺｳｶﾝ　※※※※ ★★★★★	印刷しようとしたサイズの用紙がプリンタにセットされていません。 ★★：　給紙口を表わします。 CPF1､CPF2､CPF3､MPF ※※：　用紙サイズを表します。	表示されている給紙口に、表示されているサイズの用紙を入れ､取消ボタンを押してください。用紙を交換せずに取消ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。	26

エラーメッセージ

<table>
<tr><th>表示パネルのメッセージ</th><th>状　態</th><th>処　置</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>サーヒ゛ス　ニ　レンラク！！
1××</td><td rowspan="2">プリンタの修理が必要です。

1××又は2××には3桁の数字が表示されます。</td><td rowspan="2">一度電源をOFFにし、数分後に電源をONにします。再度表示されたときは、1××又は2××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。</td><td rowspan="2">37</td></tr>
<tr><td>Controller Error
2××</td></tr>
<tr><td>Internal Error
3××</td><td>プリンタ内部にエラーが発生しました。

3××には3桁の数字が表示されます。</td><td>電源を再投入すると復旧します。再度表示されたときは、3××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。</td><td>37</td></tr>
</table>

2　印刷品質のトラブルと処置方法

印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近いと思われる症状を選び、処置を行なってください。
該当する処置を行なっても印刷品質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターまでご連絡ください。
（☞ カシオテクノ・コールセンター（37 ページ）参照）

症　状	チェック項目	対処方法
何も印刷されない	ドラムトナーセットのトナーシールは、引き抜かれていますか。	トナーシールを引き抜いてください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてください。そのあと、用紙をセットしてください。
	ドラムトナーセットが、劣化または破損していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
	ドラムトナーセットは、正しくセットされていますか。	ドラムトナーセットを正しくセットしなおしてください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
用紙全体が黒く印刷される。	ドラムトナーセットが、劣化または破損していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)

症　状	チェック項目	処　置
印刷が薄い、かすれる	ドラムトナーセット内のトナーが片寄っていませんか。	ドラムトナーセットを取り出して中のトナーが均一になるようにかるく振ってください。 ポイント トナーがこぼれることがありますので、紙を敷いて振ってください。
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」(95ページ)
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」(26ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
	ドラムトナーセットの交換時期ではありませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
汚れの点が印刷される	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」(95ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
黒線が印刷される	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)

症　状	チェック項目	処　置
等間隔に汚れが起きる	用紙の搬送路に汚れが付着している可能性があります。	汚れを取るために、何枚か印刷してください。
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」(26ページ)
黒く塗りつぶされた部分の周りに影のようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」(26ページ)

症　状	チェック項目	処　置
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れる	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞ ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」(95ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」(35ページ)
指でこするとかすれる	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」(26ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞ ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」(95ページ)
部分的に白抜けする	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」(26ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞ ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」(95ページ)

症　状	チェック項目	処　置
斜めに印刷される 思った位置に印刷されない	カセットのガイドは正しい位置にセットされていますか。	カセットの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 ☞「6 用紙の補給方法（ペーパカセット）」（26ページ）
	マルチペーパフィーダに正しくセットされていますか。	用紙をマルチペーパフィーダに正しくセットしてください。 ☞「7 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）」（31ページ）
縦長に白抜けする	ドラムトナーセットは正しくセットされていますか。	ドラムトナーセットを正しくセットしなおしてください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」（35ページ）
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 ☞「8 ドラムトナーセットの交換方法」（35ページ）
用紙にシワがつく	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞ ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」（95ページ）
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞「7 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）」（31ページ）
	用紙は正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしてください。 ☞「7 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）」（31ページ）

症　状	チェック項目	処　置
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 「7 用紙の補給方法(マルチペーパフィーダ)」(31ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞ ハードウェアマニュアル「付録2. 用紙について」(95ページ)

プリンタの清掃について

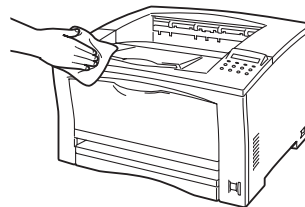
プリンタを良好な状態に保ち､いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンタの清掃の方法について説明します。

注 意

機械の清掃および保守､故障の処置を行う場合は､電源スイッチを切り､必ず電源プラグをコンセントから抜いてください｡電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

プリンタ外部の清掃

約１か月に１回、プリンタの外部を清掃してください。プリンタの外側を、水でぬらして固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります｡汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因となることがあります｡また､中性洗剤以外の洗浄液は､絶対に使用しないでください。

プリンタ内部の清掃

紙詰まりの処置やドラムトナーセットの交換のあとは、トップカバーを閉める前に内部の点検を行なってください。

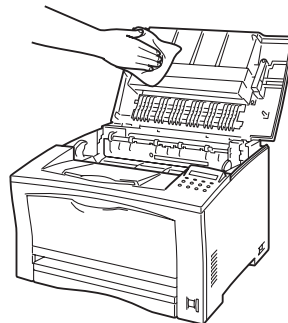
⚠ 注 意

「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。

点検方法

- 紙片が残っている場合は、取り除きます。
- ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。

3　紙詰まりのトラブルと処置方法

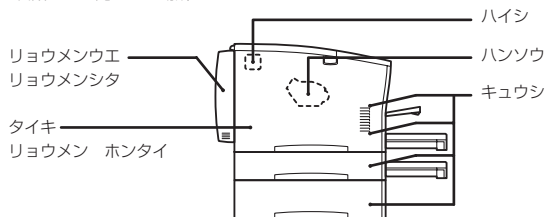
紙詰まりが発生する主な原因とその処置方法は以下の通りです。
詳しくは参照ページをご覧ください。

原　因（確認）	処　置	参照ページ
用紙は正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしてください。また、OHPフィルム、はがき、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。 ☞「3.5 OHPフィルムや厚紙の印刷方法」	ハードウェアマニュアル 46
用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」	26
適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞「5 用紙について」	24
カセットが外れていませんか。	カセットをプリンタの奥までしっかり押し込んでください。	28
用紙が詰まっていませんか。	詰まった用紙を取り除いてください。 ☞「4 紙詰まりの処置方法」	15
プリンタは水平な場所に設置されていますか。	プリンターを安定した平面の上に移動してください。	15
カセットのガイドは、正しい位置にセットされていますか。	カセットの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 ☞「6 用紙の補給方法(ペーパカセット)」	26

4　紙詰まりの処置方法

紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所を次のように表示します。

（表示例）

場所	紙詰まりが発生した場所	参照ページ
キュウシ	ペーパカセット（本体，オプション） ，マルチペーパフィーダ給紙部	17
タイキ	本体内部	19
ハンソウ		19
ハイシ		19
リョウメンウエ	両面印刷ユニット上カバー（オプション）	21
リョウメンシタ	両面印刷ユニット下カバー（オプション）	21
リョウメン　ホンタイ	両面印刷ユニット（オプション） ～本体内部	19

用紙が詰まった場所を確認し、以降の方法でプリンタに詰まっている全ての用紙を取り除いてください。

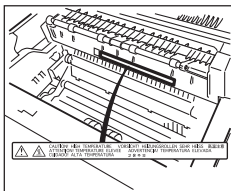
紙詰まりには次のような原因が考えられます。紙詰まりを防ぐために、これらの点に注意してください。

- **本機が水平に設置されていない**
- **適切な用紙を使用していない**
- **マルチペーパフィーダやペーパカセットに用紙が正しくセットされていない**
- **用紙がカールしている**
- **マルチペーパフィーダやペーパカセットのサイズ設定が違う**

- **用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。**
- **トップカバーを開かずに用紙を取り除いた場合は、最後に必ずトップカバーを開閉してください。トップカバーを開閉することで、エラーが解除されます。**

⚠ 注 意

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターに連絡してください。

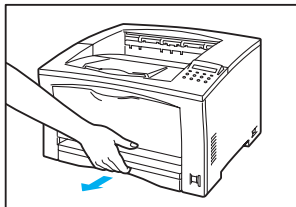
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。

紙詰まりの処置が終了すると、表示パネルに「インサツ　デキマス」と表示されます。エラーメッセージが消えない場合は、メッセージに従い、紙詰まりの処置を続けてください。

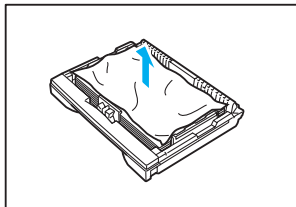
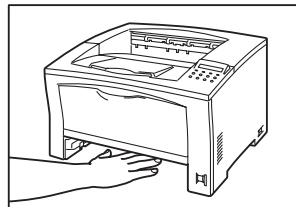
インサツ　デキマス

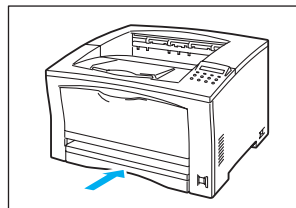
- **次に印刷される用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。**

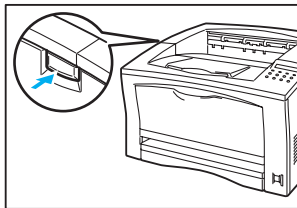
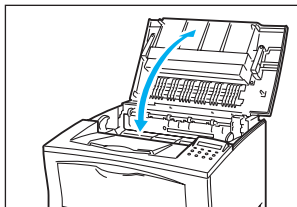
カセット内の紙詰まり（カミヅマリキュウシ）

（表示例）

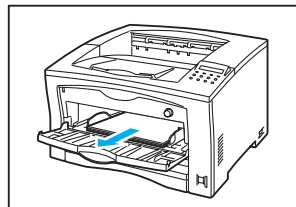
カミツ゛ マリ
ペーパカセット

1 カセットをプリンタから引き抜きます。

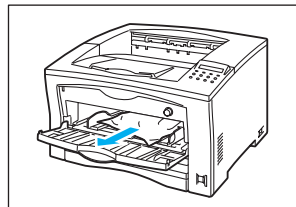
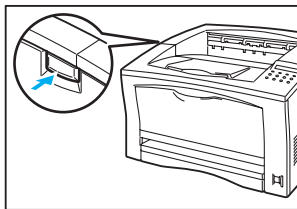
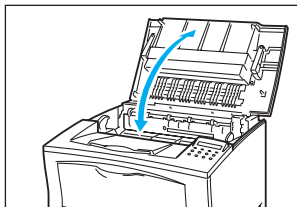
ポイント　オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜きます。

2 カセットの中を点検し、シワになっている用紙があれば、取り除きます。

3 プリンタの奥を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。

ポイント　オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、すべての拡張ペーパフィーダの奥を点検してください。

4 カセットをプリンタの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

ポイント　オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、すべての拡張ペーパフィーダにカセットをセットします。

5 プリンタ左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。

6 トップカバーを開閉します。

マルチペーパフィーダ付近の紙詰まり（カミヅマリキュウシ）

（表示例）

カミヅ゛マリ
キュウシ

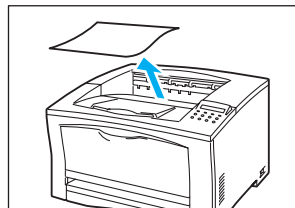
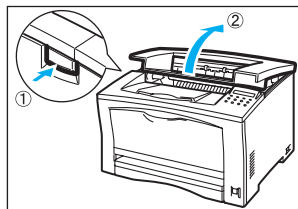
1 マルチペーパフィーダを開き、セットされている用紙を取り出します。

2 マルチペーパフィーダの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。 用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 プリンタ左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。

4 トップカバーを開閉します。

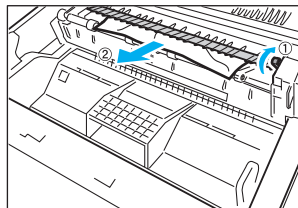
本体内部の紙詰まり
（カミヅマリ　タイキ，ハンソウ，ハイシ，リョウメン　ホンタイ）

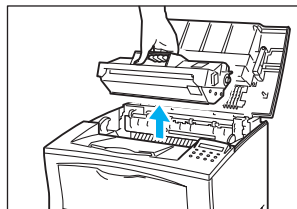
（表示例）

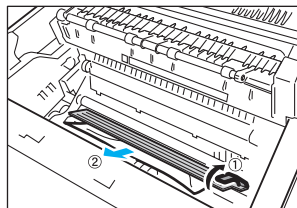
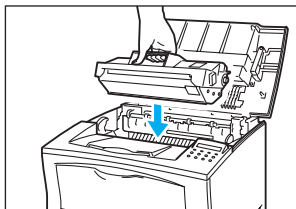
カミツ゛マリ
ハイシ

⚠ 注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 排紙トレイに用紙がある場合は、取り除きます。

2 プリンタ左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、トップカバーを開けます(②)。

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

3 定着ユニットのカバーを開き（①)、詰まっている用紙があれば、取り除きます(②)。用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

定着ユニットは高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

4 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

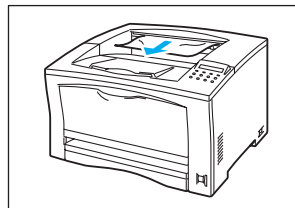
トナーで床などを汚さないように､取り出したドラムトナーセットを置く場所には､あらかじめ紙などを敷いておいてください。

5 ドラムトナーセットを抜き出した奥を点検し、緑色のレバーを持ち上げ（①)、詰まっている用紙があれば取り除きます(②)。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

6 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に挿入します。

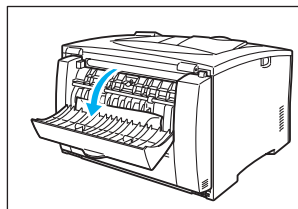
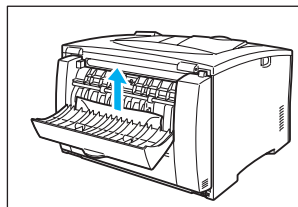
- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- ドラムトナーセットが確実にセットされていることを確認してください。

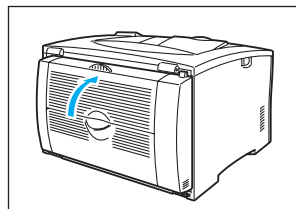
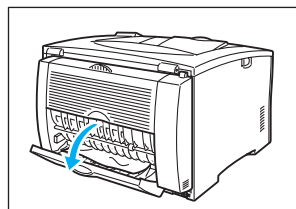
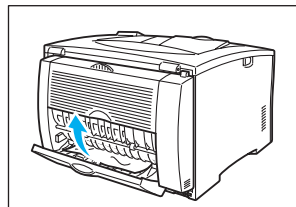
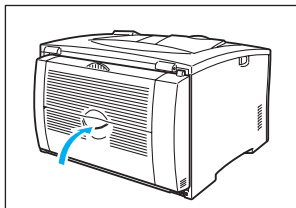
7 トップカバーを閉じます。
トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

両面印刷ユニットの紙詰まり（カミヅマリリョウメンウエ，リョウメンシタ）

（表示例）

カミヅ マリ リョウメンウエ

1 用紙の排紙口を点検し、詰まっている用紙を取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

ポイント 用紙が取り出しにくい場合は、このあとの「上カバー内部に詰まった用紙を取り除く」の操作を行なってください。

2 両面印刷ユニットの上カバーを開けます。

3 上カバーの内部を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

ポイント
用紙が取り出しにくい場合は、このあとの「下カバー内部に詰まった用紙を取り除く」の操作も行なってください。

4 両面印刷ユニットの上カバーを閉じます。

5 両面印刷ユニットの下カバーを開きます。

6 下カバーの内部を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

7 両面印刷ユニットの下カバーを閉じます

5　用紙について

使用できる用紙のサイズと枚数

各トレイにセットできる用紙のサイズと枚数は以下のとおりです。

給紙口	セットできる用紙サイズ	セットできる用紙枚数 (普通紙64g/m²)
ペーパカセット (A3ユニバーサル)	A3、B4、A4、B5、A5、8.5×11"(レター)、 不定形(幅:210～297mm、長さ:210～420mm)注意	250枚
ペーパカセット(A4)	A4	500枚
マルチペーパフィーダ	A3、B4、A4、B5、A5、8.5×11"(レター)、官製はがき 不定形(幅:87～297mm、長さ:98～900mm)注意、長尺(297×900mm)注意	200枚

プリンタドライバ画面およびサイズ設定ダイヤルにて設定した用紙サイズとは異なったサイズの用紙を使用して印刷しないでください。特に、設定したサイズの用紙よりも、幅がせまい用紙を使用して印刷すると、定着器が破損するおそれがあります。

定着器が破損するおそれのある使用例・・・

- **用紙サイズを A3 に設定している時に A3 用紙 短辺よりも幅の狭い用紙を印刷した。**

- 不定形、長尺(297 × 900mm)を使用する場合は、サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」に合わせてください。
- 不定形サイズの用紙は、短辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 官製はがきは、一般的な無地のものをご使用ください。
- 官製はがきは、長辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 官製はがき、不定形サイズ、長尺サイズの用紙及び特殊紙には、両面印刷はできません。

使用できる特殊用紙の種類

マルチペーパフィーダにセットできる特殊用紙の種類は、以下のとおりです。

給紙口	セットできる特殊用紙
マルチペーパフィーダ	OHPフィルム、官製はがき、ラベル用紙、厚紙

使用できる用紙の厚さ

各給紙口には、次の厚さの用紙をご使用ください。

給紙口	メートル坪量	連量
ペーパカセット(A3ユニバーサル)	60～90g/m²	52～77kg
ペーパカセット(A4)	60～90g/m²	52～77kg
マルチペーパフィーダ	60～135g/m² 190g/m²(官製はがき)	52～116kg 163kg

- **両面印刷をする場合は、メートル坪量 60 ～ 90g/m² の用紙を使用してください。**
- **メートル坪量とは、1m² の用紙 1 枚の質量をいいます。**
  連量とは、四六版（788 × 1,091mm）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。

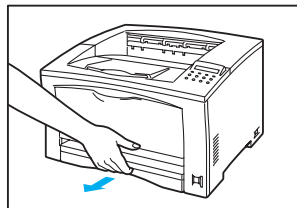
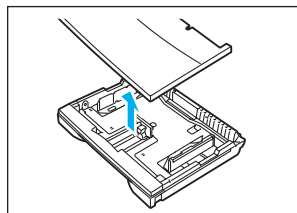
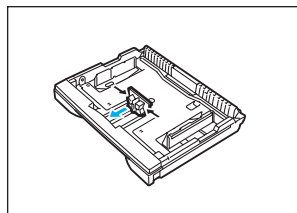
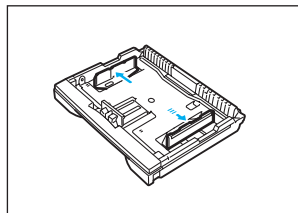
6　用紙の補給方法（ペーパカセット）

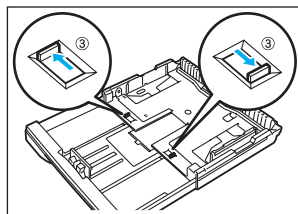
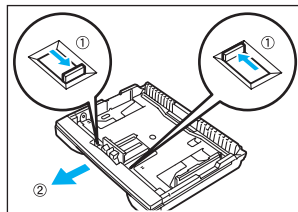
```
ヨウシ　ホキュウ
            CPF1　　A4
```

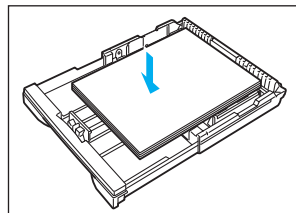
図のような表示でプリンタが停止しているときは、ペーパカセットに用紙を補給してください（図の例は本体カセットにA4サイズの用紙を補給する事を表示しています）。

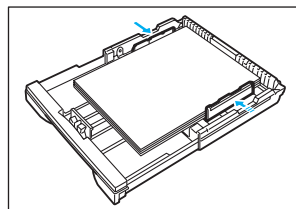
A3 ユニバーサルカセット（A3/250 枚）に用紙をセットする

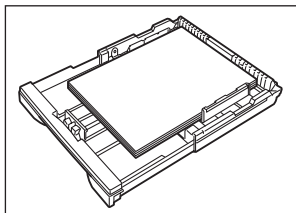
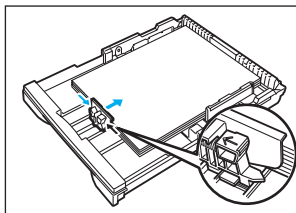
ここでは、本体のカセットにB4サイズの用紙をセットする場合を例に説明します。オプションの拡張ペーパフィーダ（A3/250 枚）のカセットに用紙をセットする方法も同じです。

☞ **A3 ユニバーサルカセット（A3/250 枚）にセットできる用紙の種類やサイズについては、「5 用紙について」（24ページ）を参照してください。**

1 カセットをプリンタから引き抜き、平らな場所に置きます。

2 カセットのフタを取ります。

3 縦ガイドクリップを指でつまみ、外側いっぱいまでずらします。

4 左側の横ガイドを外側にずらします。

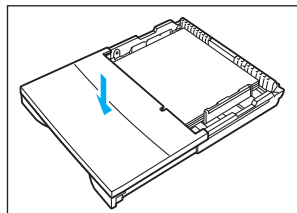
ポイント 同じサイズの用紙を補給する場合は、この操作は必要ありません。

用紙のサイズがＡ４サイズより大きい場合は、カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックを解除し（①）、カセットを手前にいっぱいまで引き出し（②）、カセットの左右の突起部を元に戻してロックします（③）。

ポイント 用紙サイズがA4サイズより小さい場合はカセットを延長しないで使用してください。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットします。このとき、横ガイドに用紙がのり上げないようにしてください。

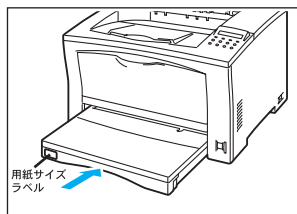
ポイント
- 折り目やシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数または用紙上限線を超える用紙をセットしないでください。

6 左側の横ガイドを内側にずらし、用紙の幅に合わせます。

ポイント 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

7 用紙の端をそろえます。

8 縦ガイドクリップを指でつまんで内側にずらし、セットした用紙サイズの刻印に合わせます。

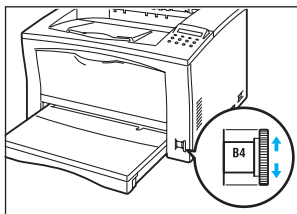
ポイント

- 用紙の端は、縦ガイドクリップの突起の下に入れてください。
- 縦ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。縦ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因になることがあります。

9 カセットのフタを閉めます。

ポイント

カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれて紙詰まりの原因になることがあります。

10 カセットをプリンタの奥に突き当たるまで押し込みます。

奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

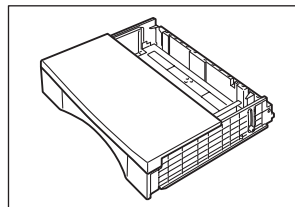
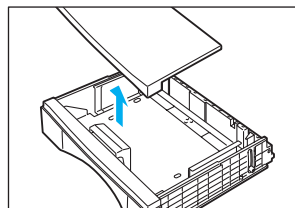
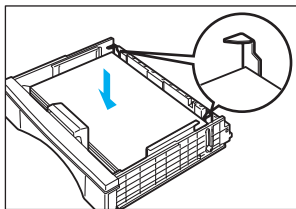
カセットのサイズを固定してご使用になる場合は、セットする用紙サイズに合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

11 カセットのサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙のサイズと向きに合わせます。

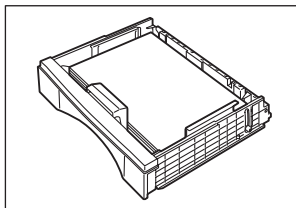
ポイント

- 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。
- 用紙の向きは、用紙の長辺を奥に差し込んだとき（横）で表現しています。
  図はB4縦にセットした例です。

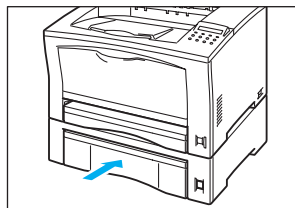
A4カセット（A4/500枚）に用紙をセットする

ここでは、オプションの拡張ペーパフィーダ（A4/500枚）に用紙をセットする方法を説明します。

A4カセット（A4/500枚）にセットできる用紙については、「5 用紙について」（24ページ）を参照してください。

1 カセットを平らな場所に置きます。

2 カセットのフタを取ります。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、左右のツメの下にセットします。このとき、横ガイドに用紙が乗らないようにしてください。

- 折りめやシワが入った用紙は、使用しないでください。
- 用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙が左右のツメの上に乗らないようにしてください。

4 用紙の端をそろえます。

5 カセットのフタを閉めます。

カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれる原因になることがあります。

6 カセットを拡張ペーパフィーダの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

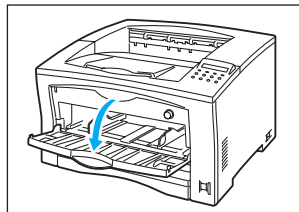
7　用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）

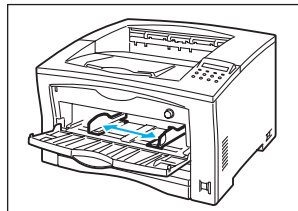
```
ヨウシ　ホキュウ
              MPF　　A3
```

図のような表示でプリンタが停止しているときは、マルチペーパフィーダに用紙を補給してください(図の例はマルチペーパフィーダにA3サイズの用紙を補給する事を表示しています)。

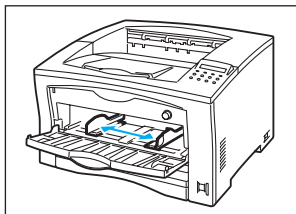
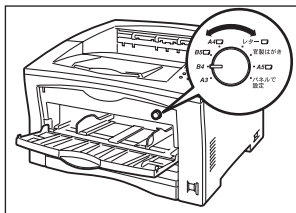
マルチペーパフィーダに用紙をセットする

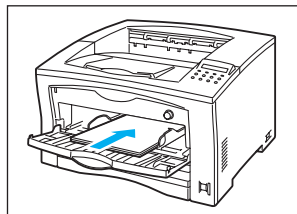
次の手順に従って、用紙をセットします。

☞ マルチペーパフィーダにセットできる用紙の種類やサイズについては、「5 用紙について」(24ページ)を参照してください。

1 マルチペーパフィーダを開きます。

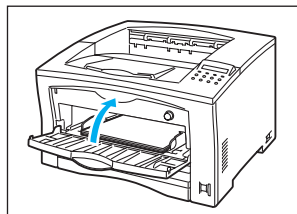
ポイント マルチペーパフィーダに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せないでください。破損の原因になります。

2 サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

ポイント

- サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。
- 同じサイズの用紙を補給する場合には、この手順は必要ありません。

3 マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズと向きに合わせます。

ポイント

- 該当するサイズや向きがない場合は、サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」に合わせ、操作パネルで設定してください。
- 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。
- 用紙の向きは、用紙の長辺を奥に差し込んだときを□（横）で表現しています。
  図はB4縦にセットした例です。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

ポイント

- 折り目やシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

5 セットした用紙の給紙方向の寸法が、A4サイズの短辺以下の場合は、マルチペーパフィーダを閉じて使用できます。

特殊紙の印刷方法

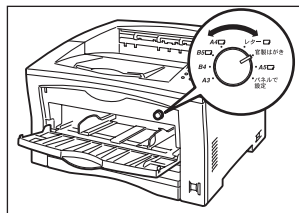
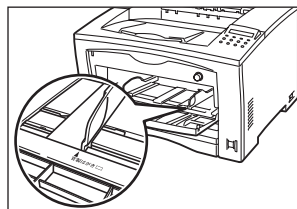
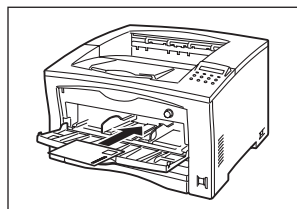
OHP フィルム、ラベル紙、厚紙、官製はがき、封筒などの特殊紙はマルチペーパフィーダ（MPF）にセットし、アッパートレイ（フェイスアップ）で排紙してください。

※ **本書では官製はがきと封筒を例に説明します。その他の特殊紙については、ハードウェアマニュアル（CD-ROM に収録）をご覧ください。**

官製はがきの印刷方法

はがきに印刷するときは、マルチペーパフィーダに印刷する面を上にしてセットします。

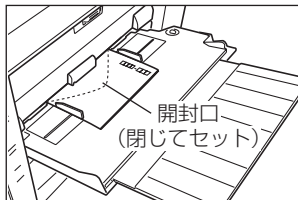
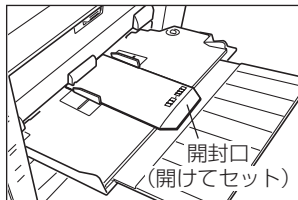
- **はがきは、長辺を給紙口に向けてセットしてください。**
- **用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。**

☞ **用紙のセット方法の詳細については、「マルチペーパフィーダに用紙をセットする」（31 ページ）を参照してください。**

1 マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、［官製はがき］に合わせます。

2 マルチペーパフィーダの用紙ガイドを、はがきサイズに合わせます。

3 はがきを、印刷する面を上にして、はがきの郵便番号枠が向かって右側になるようにセットします。

4 プリンタドライバの「印刷書式」タブ画面の「用紙サイズ」で「はがき」を選びます。

5 「給排紙」タブ画面の「給紙」の「位置」を「MPF」にし、「紙種」を「厚紙」に設定して印刷します。

封筒の印刷方法

1 封筒に印刷するときは、表面（宛名を印刷する面）を上にして、図の向きにセットします。裏面に印刷すると紙詰まりになる事があります。

2 プリンタドライバの「用紙サイズ」を「封筒ー○○○号」に設定してください。（○○○部分は使用する封筒のサイズを選んでください。）

3 プリンタドライバの「給排紙」タブ画面で、「給紙」の「位置」を「MPF」に設定して印刷します。

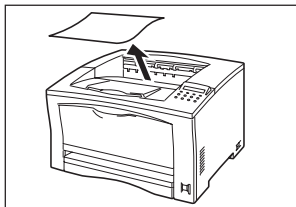
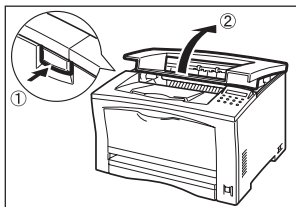
注意!

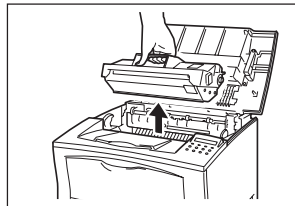
以下のような封筒は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

- 開封口にのりが付いている封筒
- 窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
- 箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
- 大きく反った封筒
- 二重（内張りがある）封筒

8　ドラムトナーセットの交換方法

注意!　本プリンタには専用のドラムトナーセット以外は使用できません。必ず下記専用のドラムトナーセットをご使用ください。
ドラムトナーセット　：CP-DTC85

■古いドラムトナーセットを取り外します。

1　排紙口に用紙がある場合は、取り除きます。

2　プリンタ左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、トップカバーを開けます(②)。

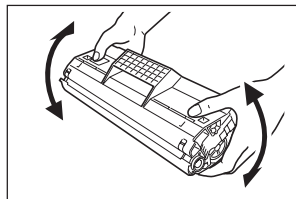
ポイント　プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

3　ドラムトナーセットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

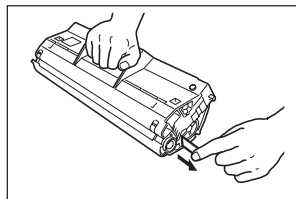
⚠ 注意

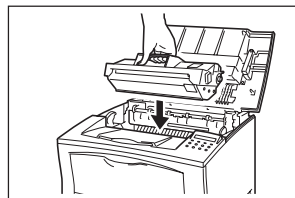
使用済みのドラムトナーセットは火中に投じないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生など思わぬ事故の原因になります。

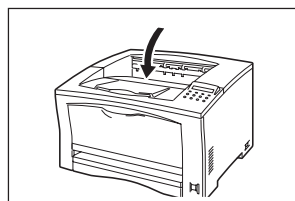
ポイント　トナーで床などを汚さないように、取り出したドラムトナーセットを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

カシオは、地球環境保護の為、使用済みのドラムトナーセットを無料で回収しています。詳しくは新しいドラムトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。

■新しいドラムトナーセットを取り付けます。

1 カセットをプリンタから引き抜きます。

- トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと起動時に異常音やドラムトナーセット内部の破損が発生することがあります。
- 感光体（ドラム）表面には、絶対に手を触れないでください。

2 ドラムトナーセットを平らな場所に置き、トナーシールを引き抜きます。

- トナーシールを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあとは、ドラムトナーセットを振ったり、ドラムトナーセットに衝撃を与えたりしないでください。

3 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に挿入します。

- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- ドラムトナーセットが確実にセットされていることを確認してください。

4 トップカバーを閉じます。トップカバーの中心を押して、カバーを閉めてください。

9　お問い合わせ先

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った・・・というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- プリンタの機種名
- プリンタのシリアル No.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行なったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- ステータスシート（プリンタ情報印刷）
- HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。

http: //www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター

TEL 03-5334-4557

受付時間は AM10:00 ～ 11:55、PM1:00 ～ 5:00。
土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の故障や修理に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター

0570-033066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00～12:00　PM1:00～5:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）
※携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543 東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA CP-E8500 Series

クイックガイド

2003年7月2日　第2版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。